

## 学校関係者評価 <第3回学校評議員の会において実施>

期 日 平成31年2月15日(金)

出席者 学識経験者、小野校区の子どもをよくする会会長、民生児童委員会代表、社会教育推進員  
PTA 会長、小野幼稚園 PTA 会長

### 1 学校経営の重点「聞き方・話し方」、「学校評価」に関わって

- どの学級も発表者の話しを聞く姿が素晴らしい。
- 多くの子どもが意欲的に挙手している。「聞く、話す」取組、特に「話す」について、担任の先生との信頼関係や後押しがあって挙手することができる子どもも多いと思うので、そうした個々への声かけや評価を今後もうまく取り入れ、認めてもらえる授業をお願いしたい。
- 校長先生の話にあった「書く」力をつけさせることはなかなか難しい。昔は「日記(生活ノート)」があり、子どもはよく書いていたが、今はそういったノートもなくなっている。
- 学校全体(子どもの力、教師の指導)として、書くことに弱さを感じる。「話すこと」と「書くこと」は一体であるので、両方をバランスよく指導していくことが大切である。
- ・学校評価の中で5%の児童が「学校が楽しくない」と答えているが、不登校につながっていくのではないかと心配している。千葉県の子供虐待死事件があったが、学校での身体測定など、気づきの場をできるだけつくっていただきたい。DVやいじめに気づける教師集団であってほしい。問題の共有化も行ってほしい。

### 2 授業内容、子どもの姿に関わって

- 1年生の国語では、赤ちゃんの大きさを定規や腕の幅で表すことが、子どもたちに赤ちゃんの大きさを実感させることにつながっていた。わかりやすかった。先生の言動一つ一つに子どもたちがよく反応していて、楽しく活発な授業になっていた。授業での学び方が身についている。
- 2年生の体育は縄跳び大会ということで大勢の子どもが集まって体操をしていたが、係の指示で素早く全員が動いているところがよかった。日頃から繰り返し練習してくるとあのような姿になることがわかった。「神様を呼び込もう」という言葉は、子どもの意欲につながるよい言葉であった。能力差があるので、個々への指導をどれだけやっていたかが大切である。
- 4年生の「のびのび発表会」ではホタルの育て方だけでなく、どのようにビオトープができたかなど、昔から受け継いできている内容が発表されていて感心した。4年生の発表で使っている手作り資料は、3年生にわかりやすく伝えようとしてつくっていることがわかった。ゴミ拾いなどの環境教育もできていた。3年生は、4年生の発表に興味津々で身を乗り出して見たり、姿勢よく話しを聞いたりする姿があり、来年は自分たちの番だと感じているのではないか。
- 5年生の国語は、落ち着いた雰囲気の中、自分の考えをまとめる時間になっていた。ストーブ近くの席の子どもにも直接熱風が当たらない配慮があっただけよかった。
- 6年生の教室には、卒業まであと何日という掲示がしてあり、一日一日を大切に生活していることが伝わってきた。ノートを見せてもらったが、大人の発想にない理想的な献立を考えていた。家の普段の食事からも学べるようになってよい。
- 2年生の体育は、縄跳び大会だと先生の話聞いてわかった。家で練習もやって続けてきた縄跳びなので、もう少し盛り上がりのある雰囲気や内容になるといいのではないか。保護者も参加できるように周知してもよいのではないか。
- 先生の課題提示や問いかけに対して、自分の考えを持ってない、ノートに書けない子どもが多いクラスがあった。先生からの課題提示や問いかけを工夫したり、再度問いかけ直したりするなど、全員が自分の考えがもてるよう努めていただきたい。
- 机間指導は、個々へのチェックだけに終わらず、個への内容指導、助言をしていけるとよい。授業の終末は、次時へのつながりを意識したものにならないといけない。

### 4 その他

- 置き勉については、学校からのお便りが出たが、実際に軽くなったようには感じていない。学校での置き場所や管理など難しいこともわかるが、もう少し軽くなれないかと思う。
- トイレのスリッパが乱れているところがあった。
- ・教室の掲示がどの学級もすっきりしている。どの学級も6年生のように今活動していることがわかる掲示や、4月からの足跡などがあってもよいのではないか。
- ・新しくできる三城幼保園の東側道路に「グリーンベルト」を引いてもらえる。小学校の通学路も関わっているので、うまく活用していただきたい。
- ・働き方改革で教員の「勤務時間」が叫ばれているが、必要に応じて働いていかなければ教員は回っていかない。健康管理ができないほど働いてはいけませんが、時間に追われ過ぎてはいけません。